

井本ゆづいちです



アメフトは、本場NFLの試合を録画して、解説を聞きながら、じっくり見るのが好きです。緻密な作戦と瞬時の判断力、高い身体能力が要求されるスポーツです。

ワイドレシーバーがあらかじめ決められた地点に向かって敵陣深く走り込み、ふり向くと、すでにロングパスのボールが飛

んできており、ジャンプしてキャッチ。タッチダウン成功と同時にスタジアムが大歓声に包まれる。

このスピード感、爽快感はアメフトならではです。

日大選手のラフプレー事件の事実が解明され、選手たちがのびのびプレーできるようになることを願います。

潮流
2018・5・29

「朝ごはんは食べなかったんですか?」「ご飯は食べませんでした(パンは食べましたが、それは黙っておきます)」「何も食べなかったんですね?」「何も、と聞かれましても、どこまでを食事の範囲に入れるかは、必ずしも明確ではありませんので…」▼論点のすり替えや、はぐらかし。不誠実な政府答弁の手法を例えた“ご飯論法”が話題です。「では、何か食べたんですか?」「お尋ねの趣旨が必ずしもわかりませんが、一般論で申し上げますと、朝食をとるとするのは健康のために大切であります」▼労働問題に詳しい法政大の上西充子教授がツイッターに投稿しました。野党の追及をかわすまやかし答弁にうんざりさせられると。共感が広がっているのも同じ思いを抱く人が多いから▼きのうの集中審議もそうでした。モリカケ疑惑で首相夫妻の関与を裏付ける文書が出てきても口先だけで否定する。証拠を突き付けられてもごまかす。これでは議論ならず、関係者を喚問するしかありません▼直近の世論調査では、首相の説明は「信用できない」と回答した人が7割にも。自民の支持層でも「信用できる」を上回り、無党派層では8割を超えています(「毎日」)▼上西教授の投稿は「働き方改革」法案をめぐる加藤厚労相の答弁を問題にしたもの。「人をだますことを得意とする大臣に、働く人の命と健康にかかわる法案の質疑の答弁に立つ資格はない」。それは国民と国会を欺き続ける、この内閣のすべての人たちにいえることです。

市営住宅空き家入居者募集

申込書配布 6月1日～14日
和歌山県住宅供給公社
市役所8階住宅第1課

申込受付 6月13日、14日
午前9時～午後7時
和歌山県住宅供給公社

詳しくは6月市報をご覧ください、松坂までお問い合わせください

講演会

「核兵器禁止条約の意義と課題」

6月16日(土)
14:30～16:30
男女共生推進センター
(あいあいセンター内)

講師 **富田宏治**氏
原水爆禁止世界大会実行委員会
国際会議宣言起草委員長

入場無料・どなたでも参加いただけます。
同会場にて、和歌山市原水協の総会を
13:30より行っています。

富田宏治さんの講演会を成功させる実行委員会